

ミカンハダニ、ミカンサビダニ、チャノホコリダニ、
アザミウマ類、ミカンハモグリガの同時防除に!

アピウス[®]

園芸殺虫剤
フロアブル

幅広い害虫に
速効的に
効く!



ミカンハダニの
全ステージに
効く!

®は協友アグリ(株)の登録商標

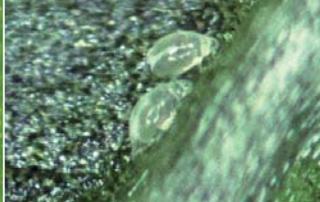
ミカンハダニ



ミカンサビダニ



チャノホコリダニ



チャノキイロアザミウマ



ミカンハモグリガ





メビウスフロアブルの特長

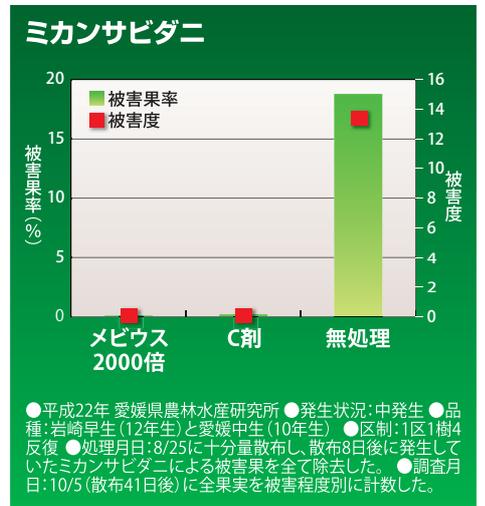
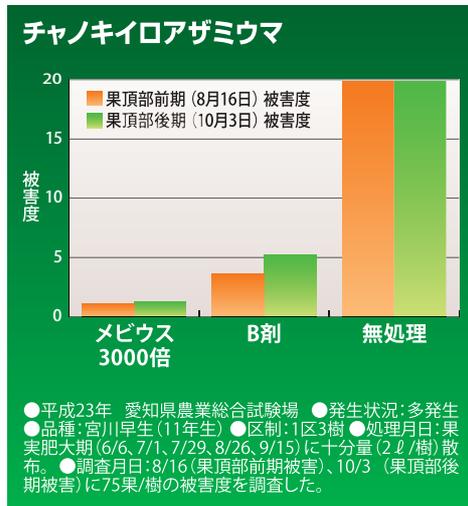
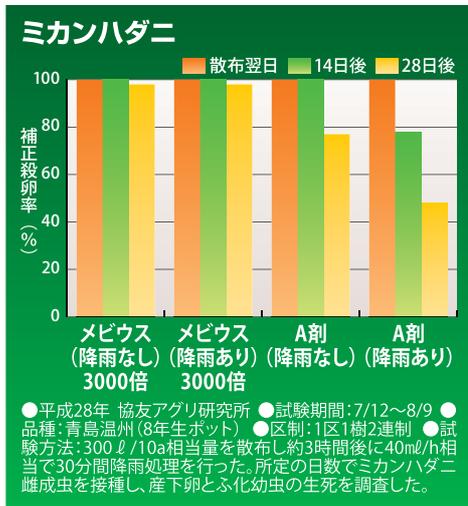
- ミカンハダニに長期残効を示すエトキサゾールと、速効性と浸透性に優れたアバメクチンの混合剤です。
- 2成分の相乗効果により、ミカンハダニに高い活性と残効を示します。
- ミカンハダニに加え、アザミウマ類、ミカンサビダニなどを同時防除できます。
- 耐雨性に優れ、散布後乾けば降雨による影響はほとんど受けません。

適用害虫と使用方法

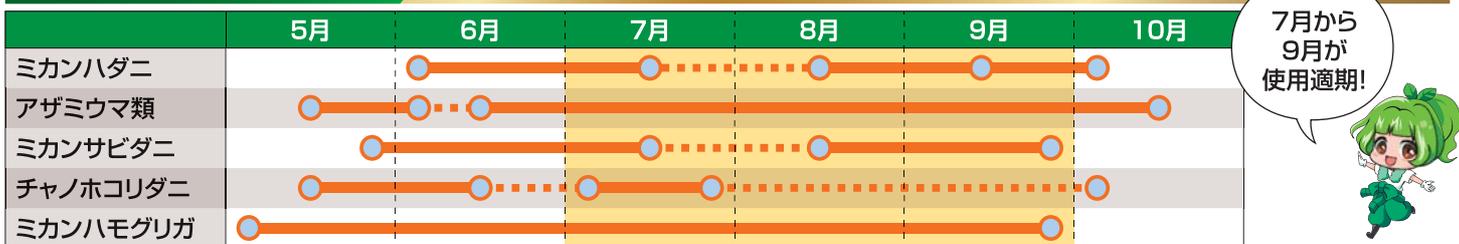
2018年9月 時点

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	総使用回数	使用方法
かんきつ (みかんを除く)	ミカンハダニ アザミウマ類 ミカンサビダニ	2000~ 3000倍	200~ 700ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内 アバメクチン:3回以内 エトキサゾール:2回以内	散布
みかん	チャノホコリダニ ミカンハモグリガ			収穫7日前まで		

試験事例



散布時期(イメージ)



使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 使用前に必ず容器をよく振ってから使用してください。
- ポルドー液との混用はさけてください。
- ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないようにていねいに散布してください。
- ハダニ類は薬剤抵抗性が発達し易いので、できるだけ年1回の散布とし、作用性の異なる他の薬剤と輪番で使用してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にからないようにしてください。
 - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - ③関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているか確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- マルハナバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①マルハナバチの巣箱及びその周辺にからないようにしてください。
 - ②マルハナバチを放飼中の施設では、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、病害虫防除機関の指導を受けることが望ましいです。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 毒 ●蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれのある場所では使用しないでください。
- 水産動植物への影響 ●水産動植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

★使用前にはラベルをよく読んでください。★ラベルの記載以外には使用しないでください。★本剤は小児の手の届くところには置かないでください。★空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。